

令和４年度 第１回 長浜市総合教育会議 次第

日時：令和４年１２月２２日（木）

場所：市役所本庁３階 特別会議室

１ 開 会

２ 市長あいさつ

３ 話題提供者紹介

４ 意見交換

【テーマ：県立高校の魅力化と地域連携について】

（１）意見交換１

■行政説明①

- ・市内県立高校の現状等（趣旨説明）
- ・市内中学生の進路状況

■意見交換

- ・地域にとっての高校の存在
- ・これからの地域の高校のあり方

（２）意見交換２

■行政説明②

- ・（仮称）滋賀の県立高等学校魅力化プランの概要説明
- ・高校魅力化検討の事例紹介

■意見交換

- ・どのような魅力化を、どのように図っていくか
- ・地域、高校、県、市ができること

５ その他

第２回総合教育会議：令和５年１月３１日（火）１３時３０分～

６ 閉 会

令和4年度 第1回 長浜市総合教育会議 出席者名簿

令和4年12月22日（木）

1 構成員

役 職	氏 名
市 長	浅 見 宣 義
教 育 長	織 田 恭 淳
教 育 委 員	前 田 康 一
教 育 委 員	廣 田 光 前
教 育 委 員	宮 本 麻 里
教 育 委 員	中 村 亜 紀
教 育 委 員	松 宮 誠 也

2 話題提供者

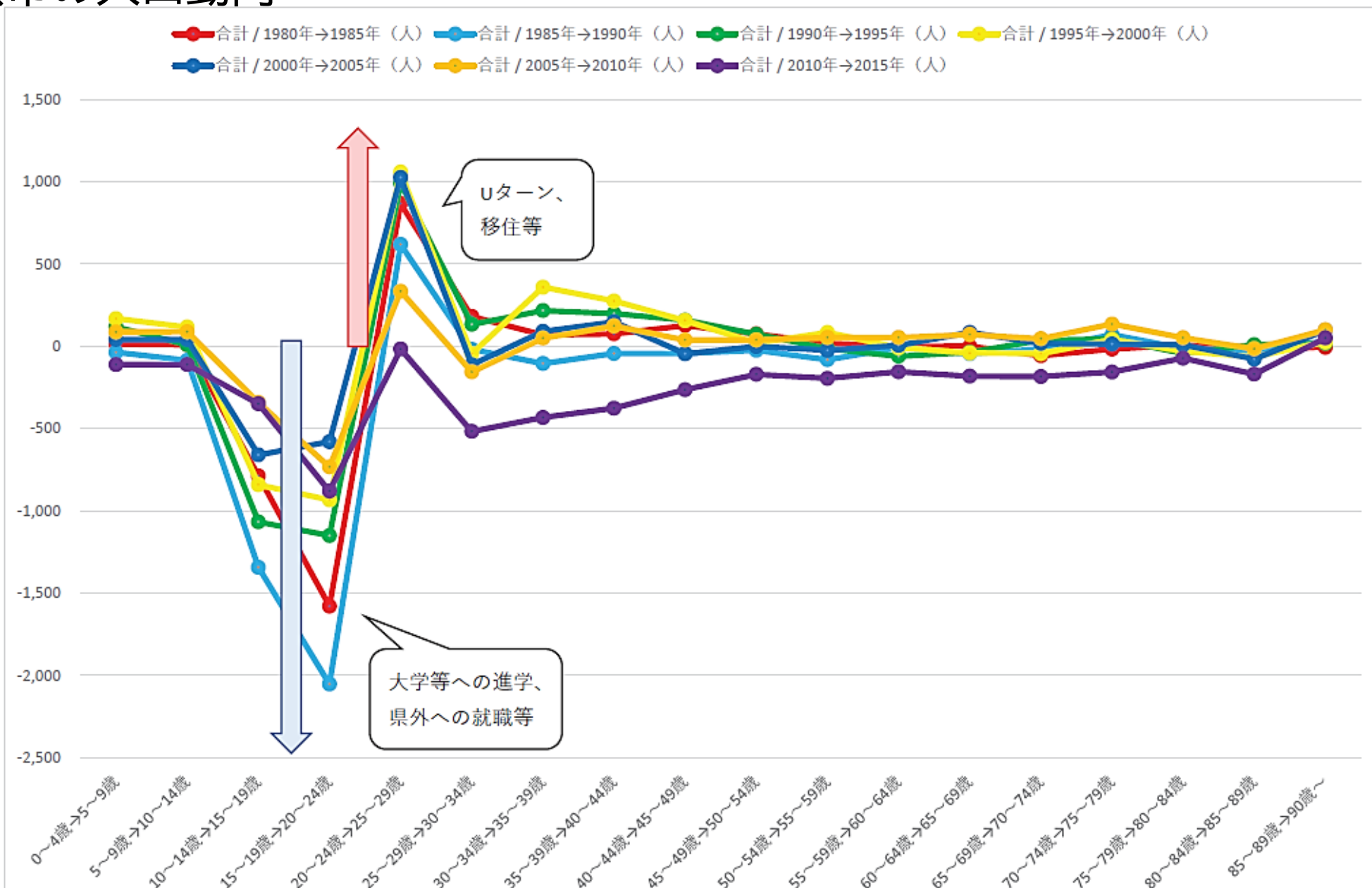
役 職	氏 名
滋賀県教育委員会事務局 高校教育課 魅力ある高校づくり推進室 参事	杉 原 真 也
滋賀県立伊香高等学校 教頭	大 森 文 子
滋賀県立伊香高等学校地域連携コーディネーター	中 山 郁 英

3 事務局

所 属 ・ 役 職	氏 名
教育部長	内 藤 正 晴
教育委員会事務局次長	堤 幹 広
教育委員会事務局次長	東 野 裕 賢
教育総務課長	服 部 稔
教育改革推進室長	中 北 隆 尚
教育指導課長	笥 敏 弘
教育指導課 課長代理	成 田 隆 史
教育総務課 課長代理	前 嶋 美 和
教育総務課 主幹	川 瀬 奈 津 代
総務部長	福 永 武 浩
総務部政策監	横 田 留 里
総務部次長	森 宏 志
政策デザイン課長	柴 田 拓 也
政策デザイン課 企画経営戦略係長	山 崎 悠 司
政策デザイン課 副参事	小 野 祐 二
政策デザイン課 主査	池 野 智 美

趣旨説明

令和4年度 第1回 長浜市総合教育会議
長浜市 総務部 政策デザイン課



転入・転出の状況 (2017.1-2021.12)

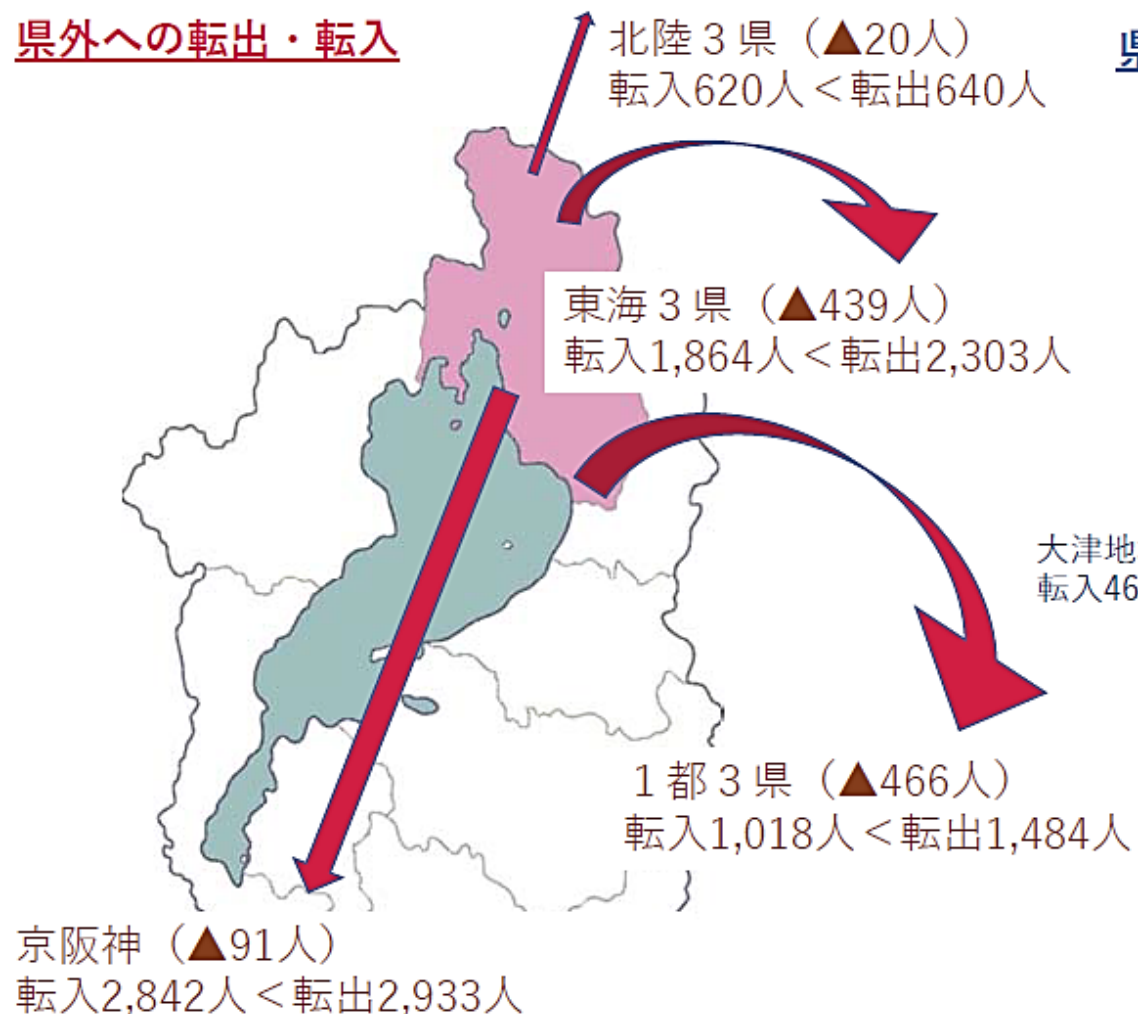
転入数： 13,354人 (県外8,299人、県内5,055人)

転出数： 15,239人 (県外9,214人、県内6,025人)

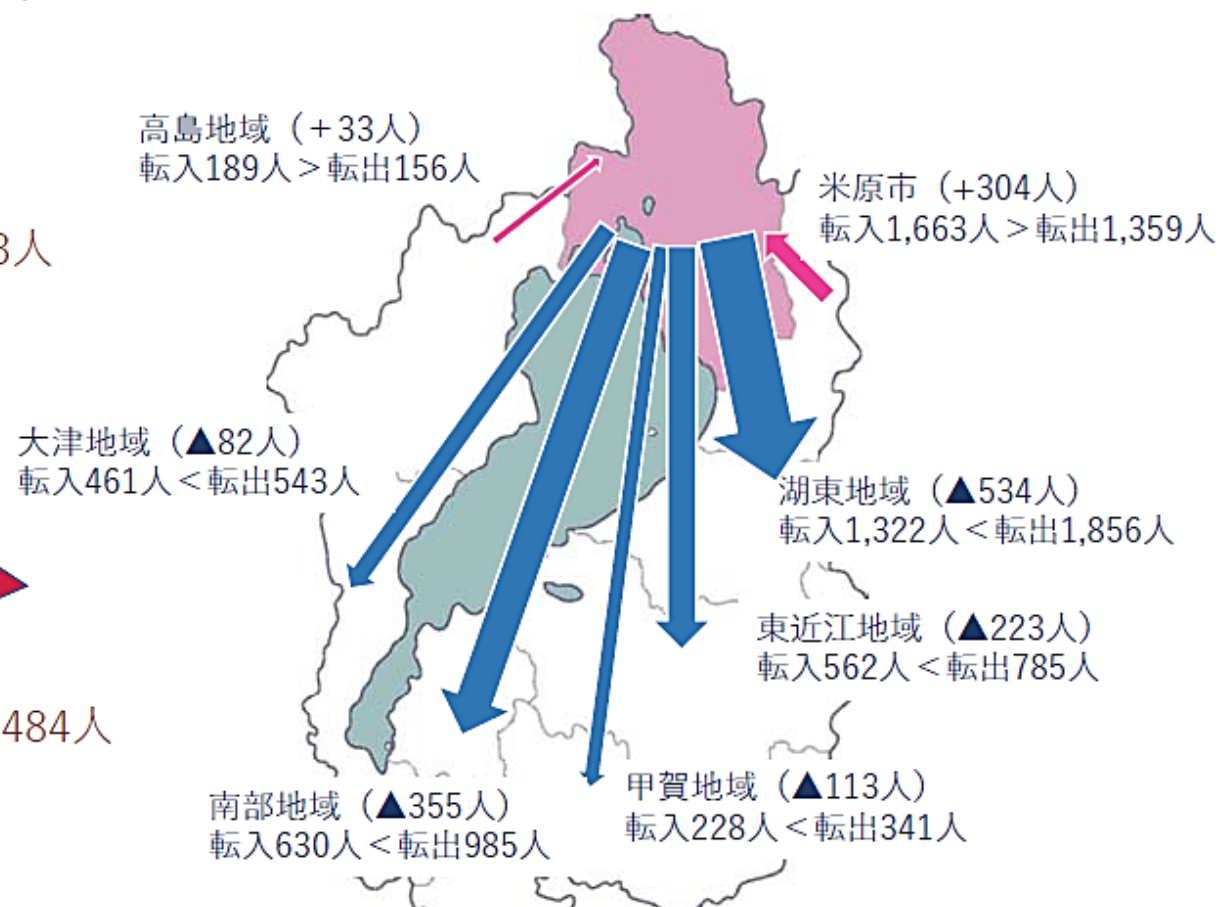
増 減： ▲1,885人 (県外▲915人、県内▲970人)

※海外の転入出・転入元未記入を除く

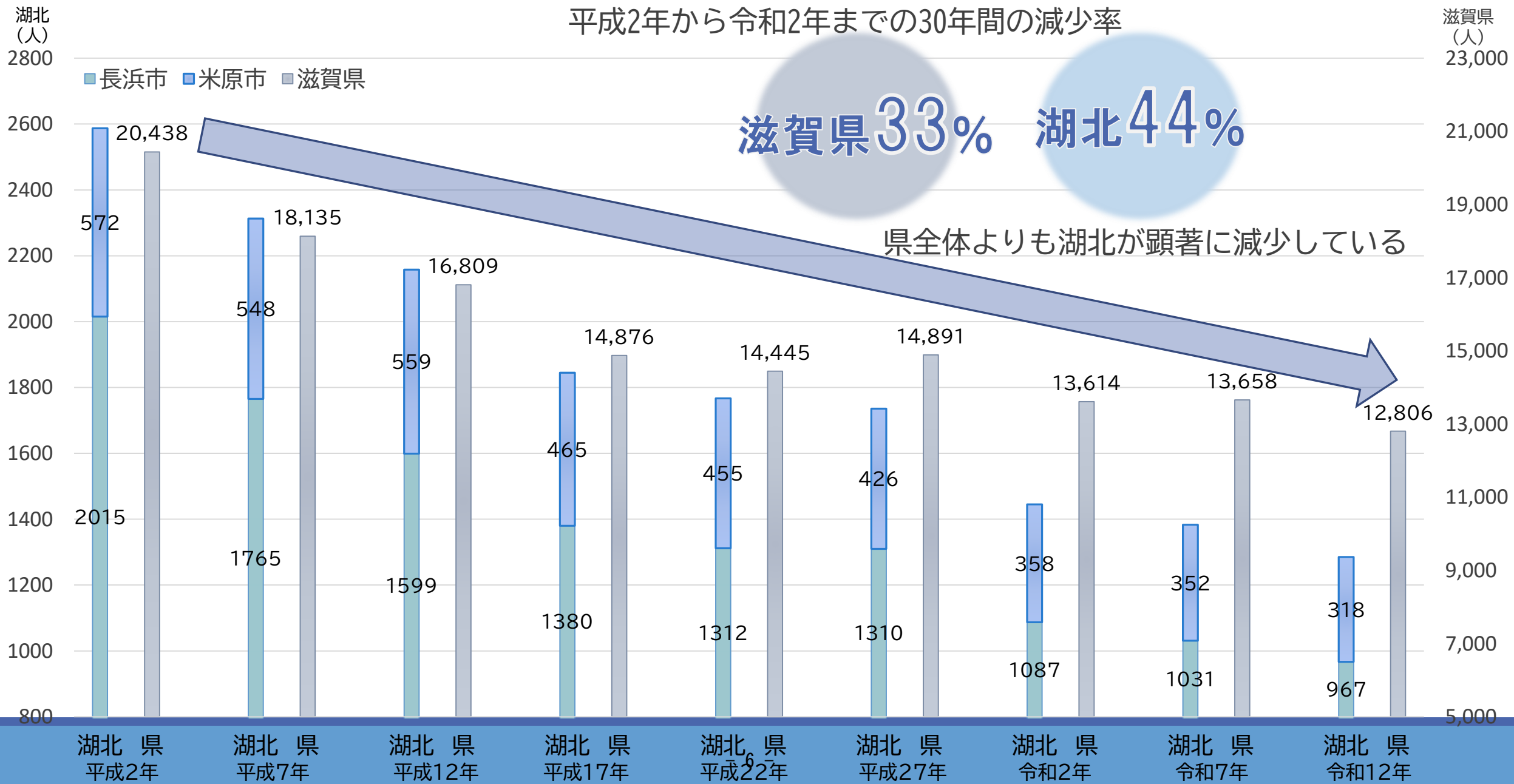
県外への転出・転入



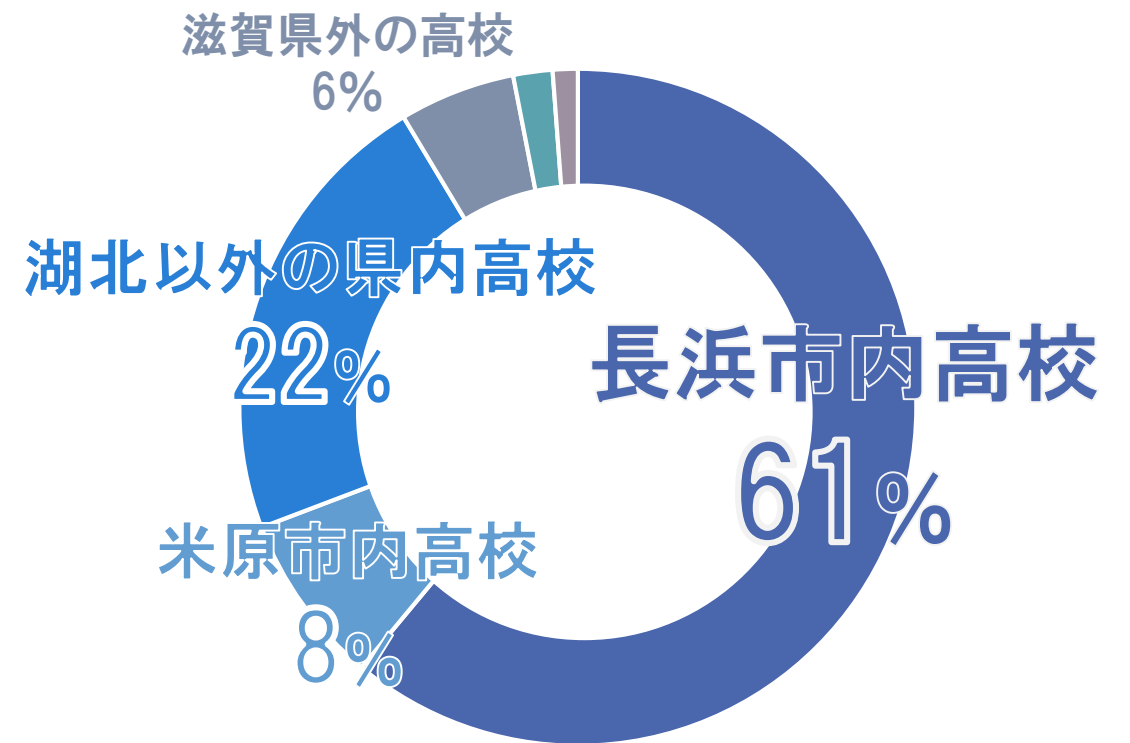
県内への転出・転入



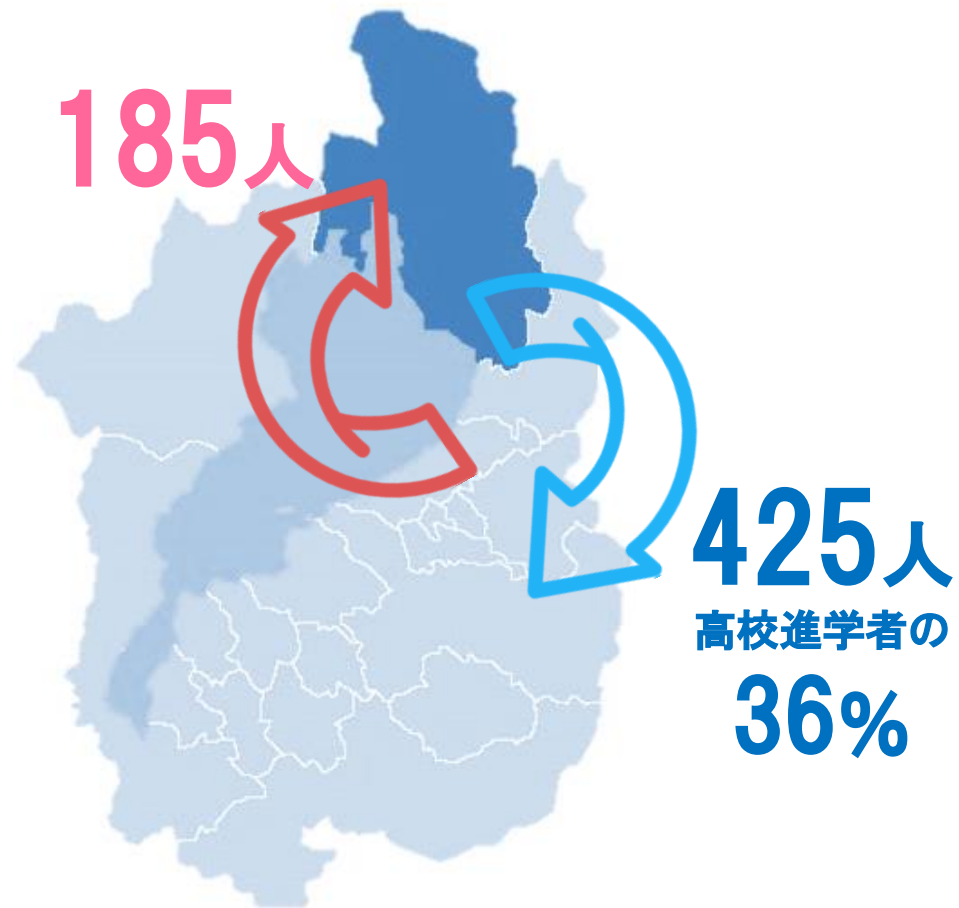
湖北エリア・滋賀県の15歳人口（各年10月1日現在）



進学先		人数 (人)	割合 (%)
長浜市内高校		716	61
米原市内高校		96	8
湖北以外の県内高校	公立	151	22
	私立	109	
滋賀県外の高校		65	6
高等専門学校・県内特別支援学校		22	2
その他		14	1
合計		1173	



市内の中学生の **4** 割が市外の高校を選択



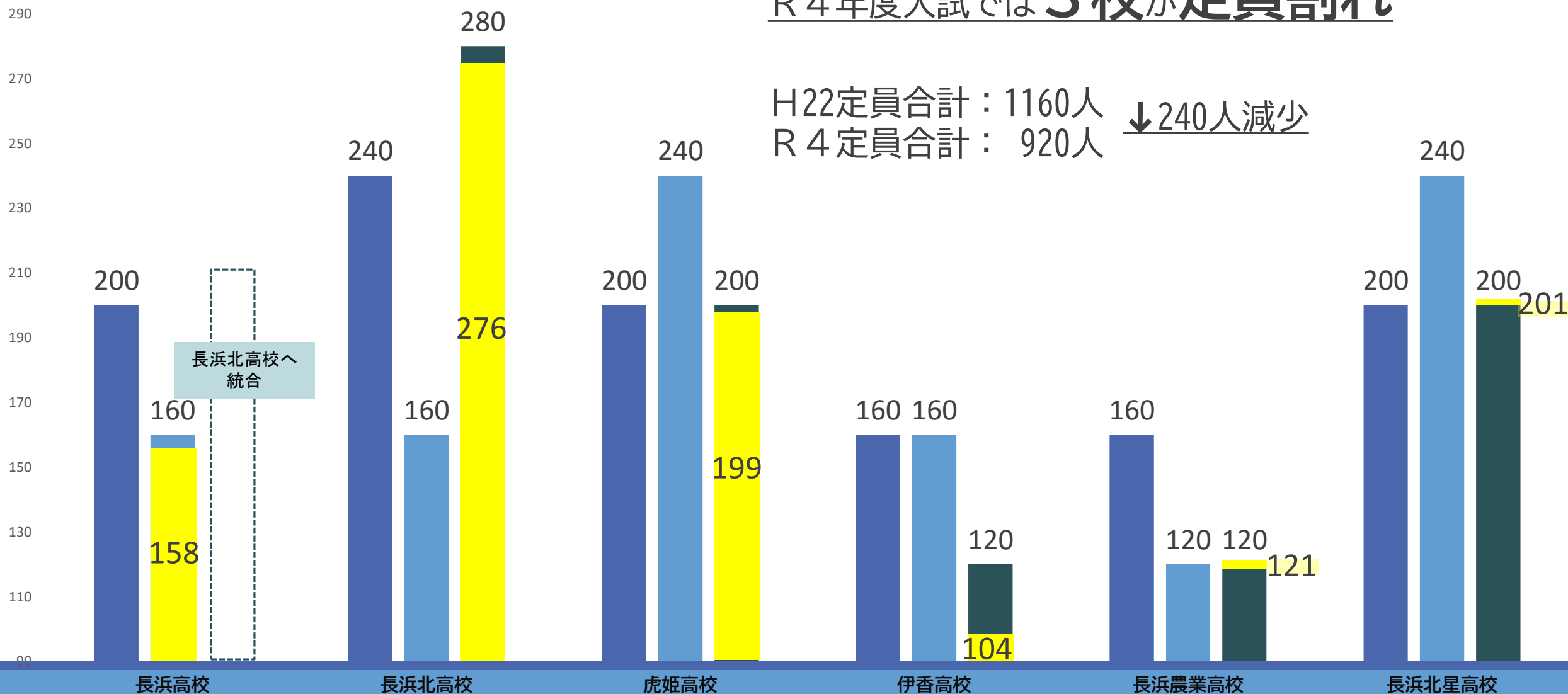
- ◎ 市内の高校進学者（1,159人）中、
425人（36%）が市外へ
- ◎ 市内高校への進学者（901人）中、
185人（21%）が市外から

$$425人 - 185人 = 240人$$

市外から長浜に進学する人より、
長浜から市外に進学する人が多い

長浜市内の高等学校の定員・入学者数の推移

■ H22 ■ H27 ■ R4年度入試定員数
■ 入学者数(定員数と差があった部分のみ)



市内の中学生の4割が市外の高校を選択



高校定員の減少
地域との関わり、愛着、賑わいの低下
子育て世代から見たまちの魅力の低下
人材確保が困難に



人口減少に拍車

地域内外から市内の高校を選択してもらえる環境を創ることが
長浜市の発展に重要
(若い人材を集めるためにも魅力ある高校づくりが必要)



長浜市内中学生の進路状況

～アンケート結果より～

R4.12.22（木）

令和4年度 第1回 長浜市総合教育会議

長浜市教育委員会事務局 教育指導課

アンケートについて

1. 実施時期 令和2年10月

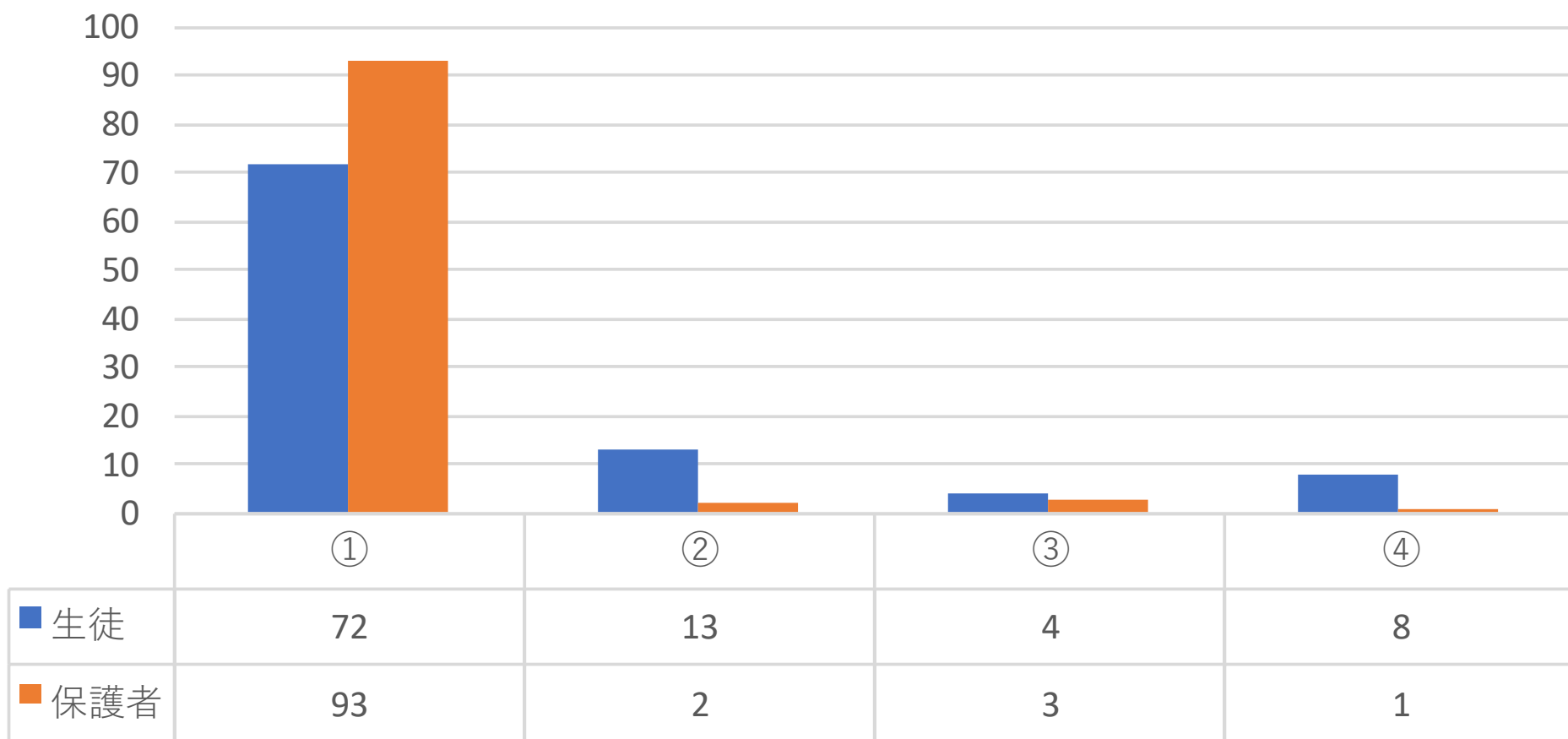
2. 実施対象 西中、湖北中、高月中学校の1、2年生徒とその保護者（各1学級分）による抽出調査

（生徒180人 保護者174人回答）

【1】現時点で進学したい・させたいと考えている高校を選んでください。

①県内の県立高校 ②県内の私立高校 ③県外の私立高校 ④その他

【1】現時点で進学したい・させたい高校（1つ）（%）



【1】主な理由

①県内の県立高校

- 【生 徒】 ・近くが良い ・学費が安い、電車代がかからない ・県外学校を知らない
・基本的な学力を身に付けたい、県立の方が学力が高い、自分の成績に合っている、
国立大学に行きたい ・兄弟、親が通っていた ・友達もたくさん行きそう
・職業の学習ができる
- 【保護者】 ・家から通学して欲しい ・通える範囲の私立が少ない ・経済的な理由
・本人の希望を優先したい

②県内の私立高校

- 【生 徒】 ・部活動(サッカー・野球・ソフトボール・バレーボール・バスケットボール・吹奏楽部)
が強い ・海外の事や英語の学習がしたい ・制服がかわいい
・レベルが高い ・設備が整っている ・留学したい
- 【保護者】 ・学ばせたい学科がある ・一人一人を見て教育してくれる

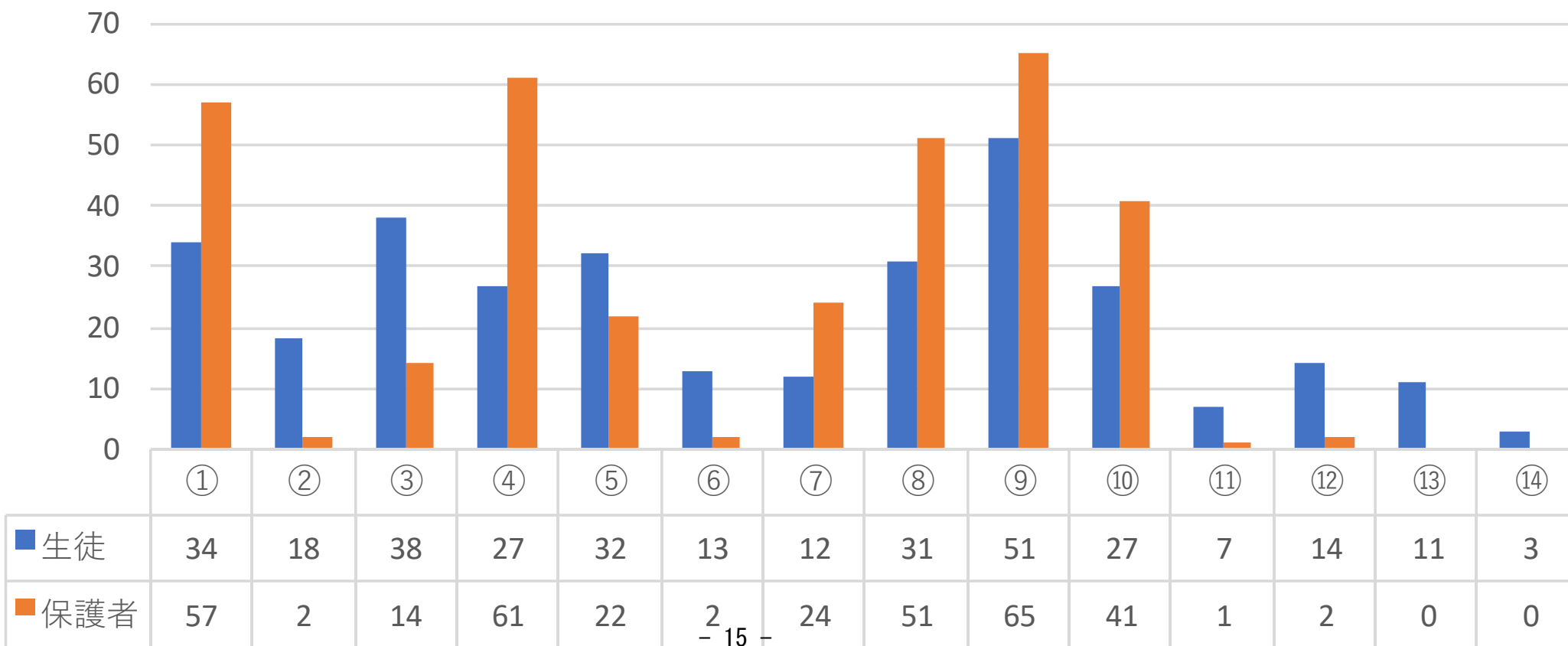
③県外の私立高校

- 【生 徒】 ・部活動(野球、バスケットボール等)が強い ・たくさんのコースがある
- 【保護者】 ・寮生活で自立させたい

【2】高校を選ぶとき、主に何を重視しますか。4つ以内で選んでください。

- ①学びたい学科・学習内容 ②校内行事 ③部活動 ④卒業後の進路
 ⑤校風やイメージ ⑥施設・設備 ⑦高校の立地 ⑧自分の適性 ⑨自分の成績
 ⑩通学時間 ⑪家族等の出身校 ⑫友人等と同じ学校 ⑬制服 ⑭その他

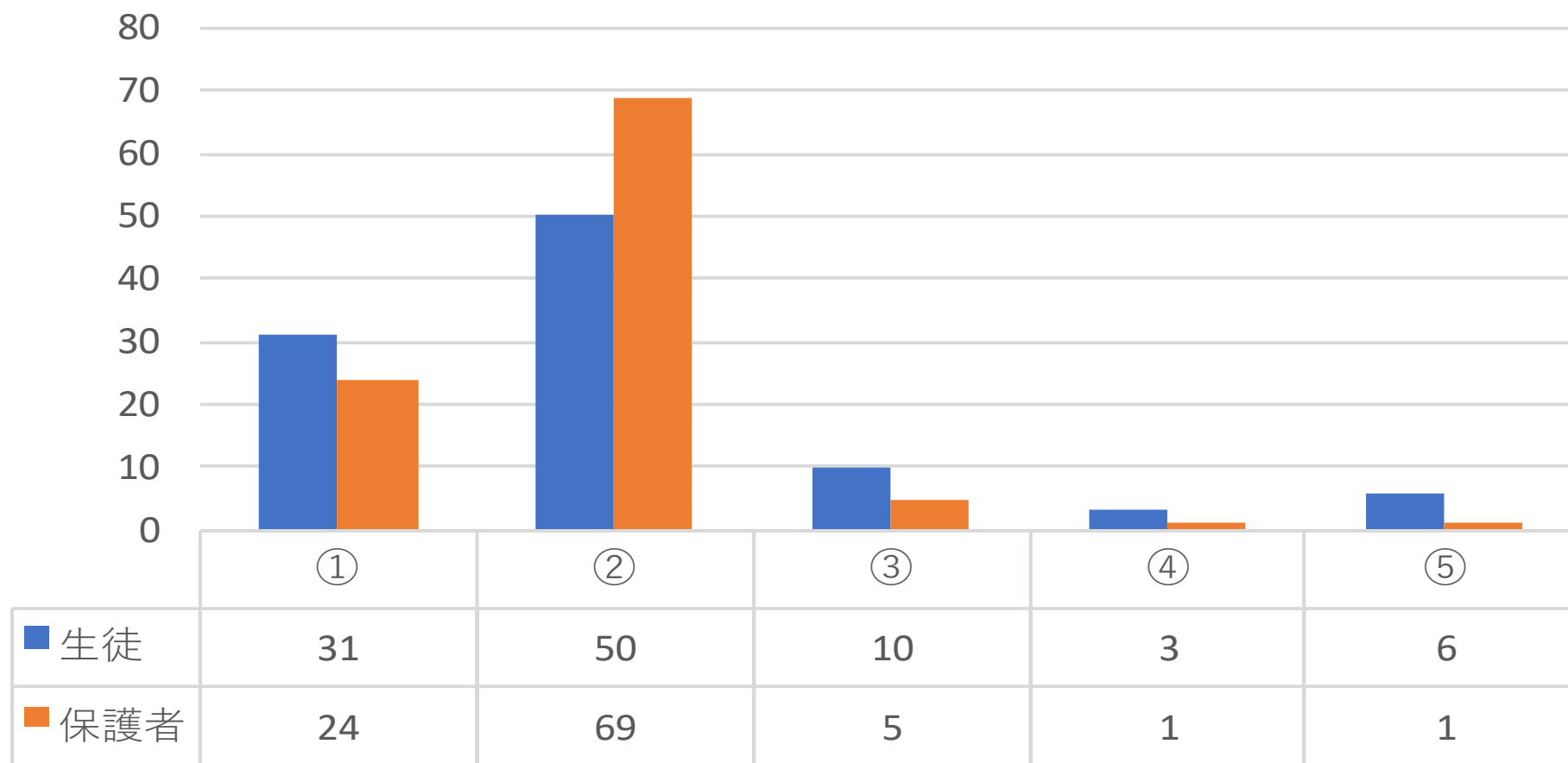
【2】 高校を選ぶとき、主に何を重視するか（4つ以内）（%）



【3】どれぐらいの通学時間を希望しますか。1つ選んでください。

①30分以内 ②1時間以内 ③1時間30分以内 ④2時間以内 ⑤その他

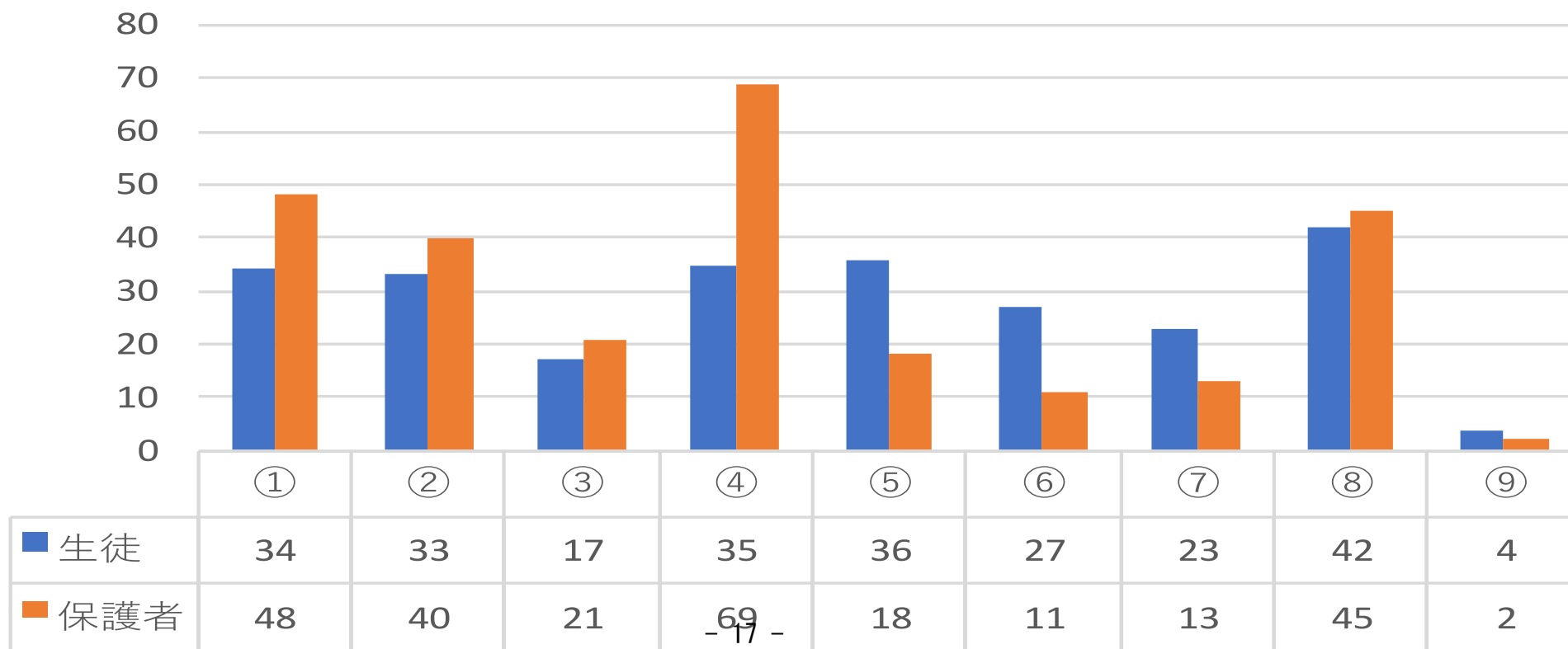
【3】 通学時間の希望（1つ）（％）



【4】高校にどのような事を期待しますか。3つ以内で選んでください。

- ①基礎的・基本的な学力の修得 ②大学等への進学のための学力の修得
- ③資格につながる学習 ④自分の進路希望や興味関心適性に応じた科目の選択
- ⑤就職に必要な知識や技術・技能の習得 ⑥学校行事の充実 ⑦部活動が盛ん
- ⑧多くの友人をつくらることができる ⑨その他

【4】 高校に期待すること（3つ以内）（％）



【5】これからの滋賀県立高校がさらに魅力ある学校になるためには何が必要ですか。

主な意見【生徒】

《施設・設備について》

- ・校舎のきれいさ
- ・しっかりとした設備
- ・トイレがきれい
- ・教室が広い
- ・Wi-Fi 環境の完備
- ・校外の環境

《学習について》

- ・わかりやすい授業
- ・集中して授業に取り組める環境
- ・多くの資格が取得できる
- ・自分の得意なことを伸ばしてくれる
- ・必要な知識が身に付けられる

《部活動・学校行事等の学校生活について》

- ・今の時代に合わせたことをする
- ・部活を強くする、部活の選択肢が多い
- ・文武両道
- ・いじめをなくしたい
- ・楽しい行事
- ・学校の雰囲気をよくする
- ・多くの人と学びたい
- ・先輩後輩が仲良し
- ・友人がたくさんできる

《その他》

- ・何でも自由ではダメだが、自由であること
- ・相談しやすい良い先生

- ・制服の選択肢
- ・バイトOK
- ・スマホの持ち込みが自由
- ・アルバイトが可能
- ・校則が厳しすぎない
- ・生徒の希望がすぐ反映される

【5】これからの滋賀県立高校がさらに魅力ある学校になるためには何が必要ですか。

主な意見【保護者】

《施設・設備について》

- ・通学路の安全
- ・トイレやネット環境を良くする

《学習について》

- ・すべての学生が見識を広げられる
- ・個別最適化、一人一人に丁寧な対応
- ・オンライン学習の充実
- ・特化した科目選択が県全域でできると良い
- ・授業で実体験をさせる
- ・生徒自らに合った学びを選択できる
- ・デジタル化やオンライン化を進め、様々な高校や世界ともつながるような学習
- ・好きな分野や興味を持ったことを多く取り入れられる授業が受けられるようにして欲しい
- ・個々の個性を生かしつつ、3年で無事に学べるサポート

《部活動・学校行事等の学校生活について》

- ・今しか経験できないことをさせてほしい
- ・学校外部から専門家に来てもらう
- ・部活が強い学校
- ・いじめのない学校
- ・生徒の生きる力を育む場であって欲しい

《その他》

- ・教職員の資質向上
- ・30人学級
- ・学区制の是正
- ・緊急時リモート学習の充実

これからの滋賀の県立高等学校の在り方に関する基本方針 概要

これからの滋賀の県立高等学校の在り方に関する基本的な考え方

本県教育の 教育理念	未来を拓く心豊かで たくましい人づくり	育成すべき 生徒像	生きる力（自立する力・ 伝える力・協働する力・ 創造する力等）がある	高等学校の 役割	・生きる力を育む場 ・好奇心や探究心を更に発展させる場 ・「答えを見つける」教育から「課題を見つけて解決に向けて考え行動する」教育の場へ
---------------	------------------------	--------------	--	-------------	--

魅力化の視点 ◎多様性のある社会や人口減少社会等への対応を踏まえて、小・中・高・大・社会・高専のつながりを大切に、ICTを活用し、持続可能な形で魅力化を図る
◎森・川・里・湖が水系でつながり、近江の心が根付いた「滋賀」ならではの学び、それぞれの県立高校でその学びを地域とともに推進する

目指す姿 ■高等学校別 ◆県域全体

- ①生徒が自ら主体的に学び「生きる力」をつけることができる
→ ◎全ての生徒に自分を高める学びが提供されている
→ ◎多様な人との出会いやコミュニケーションを通じて深い発見できる学びが提供されている
- ②生徒が多様性を尊重し世界につながり活躍するための力をつけることができる
→ ■グローバル人材や科学技術人材が育成されている
→ ■大学等と連携した高度な専門的学びが提供されている
→ ◎ICTを活用した対話的・協働的な学びが実現できている
- ③生徒同士が切磋琢磨し成長できる
→ ■学校行事や生徒会活動、部活動が活性化している
→ ◎学校でそそまれる人と人とのつながりを意識した場が提供されている
- ④場所や時間を選ばない学びができる
→ ◎ICTや外部人材を活用し、所属する学校の枠にとらわれない柔軟で多様な学びが提供されている
- ⑤生徒が社会から学び自らの進路を考えることができる
→ ■地域の教育資源や人々と関わる学びが提供されている
→ ■産業界と連携した学びが提供されている
- ⑥障害のある生徒とない生徒が互いに学び合い互いを尊重できる
→ ◎共生社会の実現に向けた教育が着実に進んでいる
→ ◎障害のある生徒に対して必要な支援が提供されている
- ⑦生徒が自らに合った学びを選択できる
→ ■それぞれの県立高校ならではの魅力や特色が人々に理解されている
→ ■基礎学力充実、不登校、日本語学習等に対応する学びが提供されている
→ ◎県内どの地域でも様々な学びが提供されている
→ ◎経済的に不利な環境にある生徒への支援が充実している
→ ◎男女の人権や性の多様性が尊重される学校づくりが進んでいる
- ⑧教職員が生徒一人ひとりに愛情をもって向き合いサポートできている
→ ◎授業改善が進むとともに教職員自身の人間性や創造性を高め効果的な教育活動ができている

取組の方向性

- 1 確かな学力の育成 [目指す姿①⑧]
→ 「主体的・対話的で深い学び」の実現を目指した授業改善 [①]
→ 「読み解く力」をもとにした探究的に学ぶ力の育成
- 2 キーワード教育の充実 [①⑤]
→ 小中学校と高校、大学等の連続性を踏まえたキャリア教育の推進 [①⑤]
→ 地元企業などの地域の教育資源を活用したキャリア教育の推進
- 3 多様な学習ニーズ等への対応 [⑥⑦]
→ 特別な教育的支援を必要とする生徒への指導の充実 [⑦]
→ 日本語指導が必要な生徒、不登校生徒等への支援の充実 等
- 4 普通科の特色化（普通科系専門学科を含む） [①②③⑤⑦]
→ 普通科の学科改編やコース、類型の設置 [②]
→ グローバル人材、科学技術人材の育成 [⑦]
→ 普通科系専門学科（音楽・美術等）の学びを継続するための工夫 等
- 5 職業系専門学科・総合学科の特色化・高度化 [①②③⑤]
（農業学科・工業学科・商業学科・家庭学科・総合学科）
→ Society5.0社会に対応した人材育成 [⑤⑦]
→ 地域や産業界と連携した産業教育、産業教育の推進にかかる環境整備 [⑦]
→ 職業系学科の魅力や魅力を伝える方策
- 6 定時制/通信制の役割への対応 [③⑦]
→ 多様な生徒の進路保障等を見据えた学びの場の提供
- 7 生徒数減少への対応 [⑤⑦]
→ これまで以上に地域と連携・協働した学校づくりの推進 [⑦]
→ 多様な学びを実現するための少人数学級の工夫 [⑦]
→ 市町のまちづくりと連携した特徴的な学科等の設置や磨き上げ [⑤⑦]
→ 普通科の学科改編やコース、類型の設置 [①②③⑤⑦]
→ 学校行事、部活動等の学校間連携や地域連携についての研究 [③]
- 8 ICTの活用 [①④]
→ 全ての県立高校でのICT環境の充実・更新 等 [①⑧]
→ 教職員のICTを活用するための研修等の充実
- 9 生徒の学びを支援し、自ら学び続ける教職員の育成 [⑥⑧]
→ 優秀で意欲のある人材の確保、研修の充実
- 10 持続可能な推進体制の構築 [①⑤]
→ 地域と連携・協働した学校づくりの推進 [⑦⑧]
→ 働き方改革の推進、経営方針の明確化
- 11 その他 [⑦⑧]
→ モデル校等による取組内容の実践・研究
→ 高等専門学校設置に関する知事部局との連携

滋賀の県立高等学校づくりのコンセプト

多様な生徒一人ひとりが、「滋賀」という地域から学び、社会の一員としての自立を目指す学校づくりを進める

1	「滋賀」に学ぶ	2	「滋賀」で学ぶ												
	滋賀の自然、歴史、文化、人、産業等を教育資源とした学びの充実 ◎知識・技能を活用し課題を解決する確かな学力の育成 ◎自立した社会人を育てるキャリア教育の充実 ◎生徒の学ぶ意欲を育むための多様な学習ニーズ等への対応	魅力と活力ある取組を明確にし、見える化する学校づくり ◎普通科の特色化（全県一区制度継続）（普通科系専門学科を含む） <table><tr><td>普通科 全日制 29/44校</td><td>普通科 普通科 〇〇科</td><td>コース</td></tr><tr><td>普通科系 専門学科</td><td>普通科系 専門学科</td><td>類型</td></tr><tr><td></td><td>総合学科</td><td>系列</td></tr></table> ◎職業系専門学科等の特色化・高度化 <table><tr><td>職業系 専門学科 総合学科</td><td>職業系 専門学科 総合学科</td><td>類型 系列</td></tr></table> ◎定時制/通信制の役割への対応	普通科 全日制 29/44校	普通科 普通科 〇〇科	コース	普通科系 専門学科	普通科系 専門学科	類型		総合学科	系列	職業系 専門学科 総合学科	職業系 専門学科 総合学科	類型 系列	
普通科 全日制 29/44校	普通科 普通科 〇〇科	コース													
普通科系 専門学科	普通科系 専門学科	類型													
	総合学科	系列													
職業系 専門学科 総合学科	職業系 専門学科 総合学科	類型 系列													
	①と②を支える環境整備 ◎多様な学びの提供や人と人とのつながりの創出等、生徒数減少への対応 ◎多様な学びを実現するICTを活用した教育の提供 ◎生徒の学びを支援し、自ら学び続ける教職員の育成 ◎持続可能な推進体制の構築														

オンラインワンの学校づくり ↓ 魅力発信

①と②を支える環境整備

- ◎多様な学びの提供や人と人のつながりの創出等、生徒数減少への対応
- ◎多様な学びを実現するICTを活用した教育の提供
- ◎生徒の学びを支援し、自ら学び続ける教職員の育成
- ◎持続可能な推進体制の構築

高等学校への希望や期待

～アンケートや意見聴取から～

- ◇生徒の立場から <中高生7,688人回答>
<大学生等>
- ・文武両道に励みたい
 - ・将来のことをじっくり考えたい
 - ・校舎をリニューアルしてほしい
 - ・生徒や先生が団結できる行事があるとよい
 - ・インターネットを活用した授業を増やしてほしい 等
- （県立高校1，2年生）
○在籍している高校の満足度（全日制）
満足82%（友人関係、部活動、授業）
不満18%（授業、校風、施設・設備）

◇保護者の立場から <保護者6,894人回答>

- ・子供の可能性を拡げてやりたい
 - ・基礎から学べるようにしてほしい
 - ・学力向上だけでなく、人間性を高めたい
 - ・オンライン授業等に力を入れてほしい 等
- （中学1，2年生保護者）
○子供に進学させたい高校
県立高校88% 県内私立高校4%
○高校に期待すること
自分の進路希望や興味・関心等に応じた科目選択ができる63%

◇地域社会の視点 <市長会、町村会、市町教委等>

- ・地域活性化に貢献する生徒を育ててほしい
- ・地域にとって高校の存在は大きい
- ・在り方検討で高校再編とせず、地域の声を聴いてほしい 等

◇産業界の視点 <県内企業関係者等>

- ・専門的に教育して、高校卒業してすぐに社会に役立つ人材を育ててほしい
 - ・企業等と連携することが必要 等
- ◇教職員の立場から <中学校・高校管理職、中堅教諭等>
- ・人間性を高めるため、授業はもちろん、部活動や学校行事も大切に、いろいろな経験ができる教育活動を工夫したい
 - ・一定の規模で教職員も充実した状況が必要 等

◇卒業後の進学先の視点 <大学、短大、専修学校等>

- ・ディスカッションをする際に、根拠のある意見を述べる力の育成が必要
- ・大学に進学を希望する際、自身の関心や志向を見つめなおして学問と接続していくことが必要
- ・職業系専門学科では現場体験など実体験の機会を増やし、職業へのあこがれを育むことが重要 等

◇その他学校関係者の視点 <スクールカウンセラー、塾等>

- ・対人不安の強い生徒たちが同じ教室で学ぶことの難しさがあり、先生方が様々なスキルを身に付けられるよう支援が必要
- ・中学生にとって高校に触れるという体験は大きく、オープンスクールのように直接情報を届けることが大事 等

- 背景 ○人口減少、少子高齢化、グローバル化、情報化、技術革新の進展などの急速な社会情勢の変化への対応
- 策定趣旨 ○概ね10から15年先を見据えて、新しい時代を切り拓く人づくりのため、県立高等学校の在り方について、全県的視野で基本的な考え方を示す
- 対象期間 ○令和4年度から令和13年度の10年間

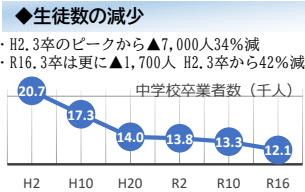
これまでの主な県立高等学校改革

- H18 県立普通科高校通学区域全県一区制
H24 県立高校再編計画策定

現行再編計画の総括

- 統合新校設置（長浜北・彦根翔西館）
・学校統合により地域全体の学校活力向上
- ・社会性の涵養、部活動の活性化
- 総合単位制高校設置、職業系専門学科改編等
・不登校傾向が改善し卒業
- 全県一区制度のもと、国や県の指定事業等の活用や地域、大学等との連携による魅力ある学校づくりの一定の進展
- 普通科高校や人口減少地域の学校の更なる魅力化、発信力の強化が必要
- 計画策定過程で地域との双方向の議論が必要

県立高等学校を取り巻く現状と課題



◆社会情勢の変化

- ・人口減少と少子高齢化
- ・グローバル化の進展
- ・第4次産業革命とSociety5.0
- ・新型コロナウイルス感染症の拡大

◆国の動き

- ・学習指導要領改訂：社会に開かれた教育課程、主体的・対話的で深い学び
- ・新時代に対応した高等学校教育の在り方
普通科改革 等

◆特別な教育的支援が必要な生徒の増加

- ・中学校の特別支援学級から高校へ進学する生徒増加（H20（13%）→H30（54%））
- ・高校で特別な教育的支援が必要な生徒の割合は増加傾向（H22（2%）→R1（5%））

将来の社会の姿

- ◇人口減少と高齢化の更なる進行
- ◇第4次産業革命を通じたSociety5.0の実現
- ◇コロナ禍を経た生活様式の変化
- ◇大規模災害などの発生リスク
- ◇持続可能な社会の実現（SDGs）
- ◇多様な価値観が尊重される社会

想像はできるが予測できないことが起こりうる

将来を見据えた整理

- 1 県立高等学校と私学との関係について
◇滋賀の高校教育について、公私が建設的に議論する定期的な協議の場の検討
- 2 県立高等学校の学校規模について
◇規模の大小にはそれぞれメリット・デメリットがあり、それぞれに特徴がある
◇地域の実情に応じた様々な規模の高校において、生徒の力を伸ばす教育の充実
- 3 将来に向けた議論の必要性について
◇県立高校は地域活性化等の多面的な機能をもつ市町村等の関係者との議論を進める
◇県が全県的視野から魅力化の方向性を提示→関係者の意見を丁寧に聞き魅力化を図る
- 4 入学者選抜の在り方について
◇時代の変化とともに、より良い選抜方法の課題整理と改善を図る

今後の進め方

- 1 基本方針に基づき（仮）魅力化プラン作成（たたき台→意見聴取→案作成）
（県教育委員会）
全県的視野からの魅力化の方向性を提示
・多様な選択肢の提供
・特徴的な学科等の配置
※必要に応じて（仮）地域別協議会の設置
（将来を見据えた検討→プランに反映）
- 2（県教育委員会）個別の実施計画作成
・（仮）魅力化プラン案に基づき対象校を選定
- 3（学校）個別の実施計画に基づく具体的検討と経営方針策定・公表
・経営方針（生徒育成方針、教育課程・実施方針、生徒募集方針等）

県立高校の魅力化の方向性（全体イメージ）

県立高校の在り方に関する基本方針における取組の方向性

- 確かな学力の育成
 - 定時制／通信制の役割への対応
 - 普通科の特色化（普通科系専門学科を含む）
 - 職業系専門学科・総合学科の特色化・高度化
 - 多様な学習ニーズへの対応
 - ICTの活用
 - キャリア教育の充実
 - 生徒数減少への対応
- など

スクール・ミッションの再定義

- ・高等学校の設置者が、各高等学校が育成しようとする人材などについてスクール・ミッションとして再定義
※設置者（県）が、各高校等の主体性を重視しながら、連携しつつ再定義。

スクール・ポリシーの策定

- ・高等学校は、3つの方針（スクール・ポリシー）を定め公表
 - 育成を目指す資質・能力に関する方針
 - 教育課程の編成および実施に関する方針
 - 入学者の受け入れに関する方針

（仮称）魅力化プランの作成 （各県立高校の魅力化の方向性の検討）

学科、コース等の設置・改編などの検討

- ・普通科の特色化（普通科系専門学科を含む）
 - ・職業系専門学科等の特色化・高度化
 - ・定時制／通信制の役割への対応
- など

【各高校における魅力化の方向性の観点】

各高校ごとに、どこに重点を置くかを位置づけ

地域連携重点

多様な学び重点

産業教育重点

高大連携重点

生活・スポーツ・芸術系重点

意見の
反映・
検討

地域別協議会等による地域との意見交換

地域連携重点

- ・地域や社会の将来を担う人材の育成を視野に入れ、地域を教育資源とした体験的な学びや、地域社会が有する課題や魅力に着目した実践的な学びに重点的に取り組む。

多様な学び重点

- ・各校の実情に応じた少人数学級の工夫や、学び直し、日本語学習などのニーズに応える教育活動の展開、学校独自の特徴的な学びの提供など、生徒の様々な学習ニーズに対応した多様な学びに重点的に取り組む。

高大連携重点

- ・生徒の能力・意欲に応じた教育の実現を目指して、高校生が県内外の大学、企業、研究機関等の教育研究に触れることができる取組を展開するなど、高大連携に重点的に取り組む。

産業教育重点

- ・職業観や勤労観の育成、産業技術の習得、経済的自立の促進を目的に、農業、工業、商業等に関する実践的、体験的な学習活動を展開する産業教育の推進に重点的に取り組む。

生活・スポーツ・芸術系重点

- ・家庭や保育、福祉などに関する体験的な学習活動により、家庭生活の充実向上を図る能力を育成し、また、レベルの高いスポーツ・芸術活動により、生徒の能力を最大限に引き出す教育の展開を行うなど、県内の拠点となる生活・スポーツ・芸術活動に重点的に取り組む。

(仮称) 滋賀の県立高等学校魅力化プラン (たたき台) 概要

地域連携重点

- ☆ 地域や社会の将来を担う人材育成も視野に入れ、地域の課題解決に向けた学習をする高校
- ☆ フィールドワークを通し、地域の魅力や課題を学習する学校設定科目のある高校
- ☆ 工業や商業、農業、家庭等の専門学科の視点で地域活性を考える高校
- ☆ スポーツや観光等のレジャーの視点で地域活性を考える高校

高大連携重点

- ☆ 大学や研究機関、海外の高校等と連携・協働して興味ある学問分野の研究ができる高校
- ☆ 文部科学省の事業や県事業の指定を受けて他校にない特色ある学びができる高校
- ☆ 理科や数学の高度な学びができる高校
- ☆ 文系・理系にとらわれず幅広く学べる高校（STEAM教育の取組）
- ☆ データサイエンスや環境エネルギーの基礎が学べる高校
- ☆ 琵琶湖を中心とした自然環境や生態系について学べる高校
- ☆ 教育に関する探究学習に取り組める高校

多様な学び重点

- ☆ スポーツや芸術等、生徒の興味・関心や進路希望に応じた多くの選択科目がある高校
- ☆ 外部人材を活用し、幅広い視点を育てる高校
- ☆ 地元企業でのインターンシップを取り入れた高校
- ☆ 国数英は30分授業にするなど基本の定着に重点を置いた授業をする高校
- ☆ 個々の生徒に応じた少人数の習熟度別授業を取り入れた高校
- ☆ 総合単位制普通科高校や通信制高校
- ☆ ICTを活用したオンライン授業、他校と連携した遠隔授業
- ☆ ソーシャルスキル・コミュニケーションスキル習得に係る支援を行う高校
- ☆ 生徒と保護者の生活状況などにも配慮しながら支援に取り組む高校

オンリーワン(魅力ある)高校
「夢・想い」をかなえる場所は
ここにある

産業教育重点

- ☆ 職業上の専門性の基礎を学べる高校
- ☆ 企業と連携しビジネスモデルを開発する学びができる高校（起業家教育）
- ☆ 企業が持つ産業技術や大学等の知識・設備等を生かした学びができる高校

生活・スポーツ・芸術系重点

- ☆ 体育や音楽等の学科やコースを設置して専門的に学ぶ高校
- ☆ 魅力ある部活動のある高校
- ☆ 保育や福祉の学びができる高校

☆他校との連携による
活力の創出

※【 】は定時制・通信制

	大津地域	南部地域	甲賀地域	東近江地域	湖東地域	湖北地域	高島地域
地域連携重点	堅田 大津 瀬田工業 大津商業	湖南農業 守山北	石部 甲西 水口 信楽	八幡工業 八幡商業 八日市 八日市南 日野	彦根工業 愛知	伊吹 長浜北 伊香 長浜農業	高島 安曇川
多様な学び重点	北大津 【大津清陵 (昼・夜・通)】 【瀬田工業】	草津 栗東 守山北 野洲	石部 甲南 信楽	八幡 能登川 【能登川(昼・夜)】	彦根翔西館 愛知 【彦根工業】	伊吹 伊香 【長浜北星】	安曇川
高大連携重点	膳所 東大津 大津 石山	玉川 草津東 守山	甲西 水口東	八日市	彦根東 河瀬	米原 長浜北 虎姫	高島
産業教育重点	瀬田工業 大津商業 【瀬田工業】	湖南農業 国際情報	甲南 信楽	八幡工業 八幡商業 八日市南 日野	彦根工業 彦根翔西館 【彦根工業】	長浜農業 長浜北星 【長浜北星】	安曇川
生活・スポーツ・ 芸術系重点	北大津 大津 石山	草津東 栗東 野洲	石部 水口	日野	彦根翔西館 愛知	伊吹 伊香 長浜北星	安曇川

資料4

県立高等学校 共通のスクール・ミッション 未来を拓く心豊かでたくましい人づくりのため、生徒の自立する力・伝える力・協働する力・創造する力等の生きる力を育成する学校
 定時制・通信制高等学校 共通のスクール・ミッション 定時制・通信制高校の制度上の利点を生かし、教育の機会を保障しながら社会に貢献できる資質・能力を育成する学校

<全日制>

地域	市町	学校	学科 (R5年度学級数)	これまでの特徴的な取組	スクール・ミッション	今後の魅力化の方向性(案)					
						地域連携 重点	多様な 学び 重点	高大 連携 重点	産業 教育 重点	生活・ スポーツ・ 芸術系 重点	特徴となる学び等
	長浜	長浜北	普通(6)	○県下初のコミュニティ・スクールとして積極的な地域連携の推進 ○県のモデルとなる英語教育「ACTIVE English」による実践的な学び ○自分自身や地域社会から世界まで視野を広げた学び「N-プロジェクト」の取組	①大学や地域と連携した学び等によって高い志を持って社会に貢献できる人材を育成する学校 ②学業や学校行事、部活動等を通して、将来の自己実現に向けて主体性を持って力を発揮することができる人材を育成する学校	○		○			★高大連携事業や地域探究等の発展的な学び ★活発な学校行事や部活動等による生徒の個性・能力の伸長を図る教育活動
	長浜	虎姫	普通(5) 国際バカロレア	○文部科学省指定「スーパーサイエンスハイスクール(H24～R5)」の探究的・発展的な学びによる科学的思考力の育成 ○国際バカロレア(R2設置)の学びによる国際的な視野をもった人材の育成 ○大学等での本格的な講義や実習等の「本物に触れ、最先端と出会う」学び	①開校以来の質実剛健の精神を重んじる伝統のもと、特色ある高度な学びにより、地域はもとより国際社会に貢献できるリーダーを育成する学校 ②学業や学校行事、部活動等に主体的に取り組む教育により、確かな学力と人間力を育成する学校			○			★スーパーサイエンスハイスクールの先進的な理数系教育による、理科や数学の発展的な学び ★国際バカロレアの学びの充実を図り、国際的視野と世界に通用する資質・能力を持つグローバル人材を育成する教育活動 ★大学や研究機関、海外の高校等と連携・協働して、生徒が自ら多様なテーマで課題研究に取り組む、新しい社会を牽引するイノベーションの担い手を創出する教育活動(STEAM教育の取組)
	長浜	伊香	普通(3) 特進クラス 特色クラス スポーツ健康 自然環境 地域文化	○普通科に4つの特色あるクラス類型コース(特進、スポーツ健康、自然環境、地域文化)を設置して多様な進路に対応 ○野球部や柔道部を中心とした活発な部活動 ○「SOUND会」による地域と連携した防犯ボランティア活動や花いっぱいサークルの活動など地域のまちづくりに貢献	①地域の熱意と協力により開校した伝統のもと、地域との連携・協働した学びにより、将来の地域を担う人材を育成する学校 ②基礎学力の充実や発展的な学習等により、生徒の進路希望を実現するための確かな学力を育成する学校	○	○			○	★地域の専門家と協働し、森・川・里・湖がつながる県北部ならではの学び ★地域をフィールドに、「地域の人々や文化的資源」と「生徒の興味関心や進路希望」をかけた多様な地域探究の学び ★専門スポーツ(野球・柔道等)の競技力向上や野外スポーツ等の学び
	長浜	長浜農業	農業(3) 農業科 食品科 園芸科	○県内唯一の園芸科を設置(草花装飾技術、果樹や野菜生産等の学び) ○農産物販売会による地域貢献 ○長浜市や大学等と連携した地域伝承野菜「尾上菜」のブランド化事業への取組	①県北部の農業教育を担ってきた農業高校として、地域や大学等と連携した農業教育により、地域で活躍できる人材を育成する学校 ②農業教育を通して、他者を思いやる心豊かな感性を育成する学校	○			○		★異業種との連携・協働による特産物や新商品の開発を目指した学び ★地産地消や6次産業化を目指した学び
	長浜	長浜北星	総合(5) 文理系列 X部立X系列 情報電子X部立X系列 総合X部立X系列 福祉系列	○県内唯一「介護福祉士」の国家資格取得を目指す福祉系列を設置 ○地元企業からの技術指導による実践的な学び ○高等養護学校併設(H28～)	①数多くの企業人、職人を輩出してきた高校として、工業・商業・福祉等の学びによって県北部の産業界を支えとともに、グローバルとローカルの架け橋となって社会に貢献できる地域のリーダーを育成する学校 ②国家資格や検定の取得等を通じ、未来を主体的に切り拓き、地域産業で活躍できる人材を育成する学校 ③高等養護学校併設校として、障害のある生徒とない生徒が互いを理解し合い学び合える学校				○	○	★広く深い視野を育成するための、学校間連携や企業連携等による商品開発・販売等の実践的な学び ★地元企業等からの高度な技術指導

<定時制・通信制>

地域	市町	学校	学科 (R5年度学級数)	これまでの特徴的な取組	スクール・ミッション	今後の魅力化の方向性(案)					
						地域連携 重点	多様な 学び 重点	高大 連携 重点	産業 教育 重点	生活・ スポーツ・ 芸術系 重点	特徴となる学び等
湖北	長浜	長浜北星	総合 (夜間1)	○夕方17時30分から授業が4限あり、希望する生徒に学校設定教科「職業」の授業を5限科目として開設 ○全商簿記実務検定、全商電卓実務検定などの資格取得	○生徒一人ひとりの生き方に応じ基礎・基本を重視した教育を提供し、地域に貢献できる人材を育成する学校		○		○		★時間割の工夫や少人数の習熟度別授業等、基礎的な学力の定着と商業の専門的な知識・技能の習得に重点(資格取得)を置いた教育活動 ★3年間で卒業を目指す生徒のための0限・5限授業の取組 ★日本語指導が必要な生徒等への充実した支援体制

目標

伊香高校と地域がともに未来を創る

スクールミッション要旨

「地域とともに歩む学校・三万一心」

「個に応じた指導・一人ひとりを大切に」



生徒がいきいき



先生がいきいき



地域がいきいき

- ・ 自分自身の興味関心を育む
- ・ 希望の進路を見つけ前進できる
- ・ 伊香高校に誇りをもてる

- ・ 生徒に向き合う時間がもてる
- ・ 今後のキャリアに生きる多様な経験ができる
- ・ 創意工夫が反映・評価される

- ・ 伊香高校を応援したいと思う
- ・ 地域の人や物事と高校生の接点が多くある
- ・ 地域の人が子どもを伊香高校に行かせたいと思う

新学科を設置し、地域で専門的に学ぶ

●新学科方向性：森の探究科

長浜市の脱炭素関連の活動や滋賀県の提唱するMLGs、三日月知事の掲げる林業科新設検討に呼応する形で、かつて学校林を保持した伊香高校の歴史を活かし学科を新設。地域の専門家と協働し森・川・里・湖がつながる北部地域ならではの学びをつくる。

地域の特色を活かし、遠方からでも「伊香高校に通いたい」と思ってもらえるような他にはない特色のある学科の設置を目指す。

●地域をフィールドにした探究学習

地域をフィールドに、地域の人や文化的資源と生徒の興味関心や進路希望をかけた多様な地域探究学習を全校的に実施。特進コース、地域デザインコース、スポーツ健康コースにおいても地域と連携して学びを深める。

■地域の期待に応える魅力強化

大学進学や就職などの卒業後の進路の多様性、野球や柔道など専門スポーツの競技力向上など、学科新設以外の部分においても生徒や地域の期待に応えられるように内容を検討していく。

具体的
イメージ
(案)

伊香高校 魅力ある教育の概要・目指す方向性 （素案）

●ポイント

持続可能な社会と琵琶湖に根ざした暮らしの創造、人と自然が共存する循環型社会構築に資する人材育成を図る。また、地域の森林資源などを活かしたまちづくりに関わり、地域活性化との相乗効果を目指す。

1. 「森・川・里・湖」が水系でつながる滋賀北部ならではの学び

滋賀県北部は淀川水系の水源地であり、豊かな森林や田園環境、人々の暮らしが根付く地域である。それらの地域資源を通して実体験に基づいた幅広い学びを深める。

・学びのベースに MLG s（SDGs 滋賀版）において、持続可能な社会と琵琶湖に根ざした暮らしの創造

2. 地域内外の専門家と協働した循環型社会に関する実践的な学び

長浜地域には森林サービス産業や環境エネルギーに関連する専門家が数多く活動し市外との交流も活発である。そのような専門家と協働し実践知に基づいた教育プログラムを組み立てる。

・長浜市の掲げるゼロカーボンシティの取り組みからの学びと協働

＊バイオマス、風力、太陽光等の再生可能エネルギーの地産地消、環境未来人材の育成

・森林資源の活用と整備を実践的に学ぶ

＊木工、木育、森の歩き方、アウトドアアクティビティ、エコツーリズム等の森林サービス産業

＊森林科学、森林環境、生物環境、自然災害と防災減災等

3. 地元地域や長浜市など地域と連携した学び

高校が所在する木之本や長浜地域は若い移住者も増えており、活発な活動が行われている。そのような活動に高校も参画できるよう情報共有やコーディネート体制を整える。

・地域に根差し、地域の活性化と地域創生につながる取り組みと学び

＊地域おこし協力隊の方との協働

＊地域コンソーシアムの形成

長浜市や県庁関係課などの地域行政機関や地域教育機関、商工関係組織、森林関係組織などに連携をお願いし、コンソーシアムを立ち上げる。新学科カリキュラムを検討する学内委員会、県と市が設置するコーディネーターが協働して運営を行う。

滋賀県立 長浜農業高等学校

取組事例紹介



フィールド
学びの場は自然そのもの

NAGAHAMA AGRICULTURAL HIGH SCHOOL

学科紹介

園芸科



草花分野

果樹分野

野菜分野

農業科



食糧生産分野

食農振興分野

動物科学分野

食品科



農産物利用分野

製菓・製パン分野

畜産物利用分野

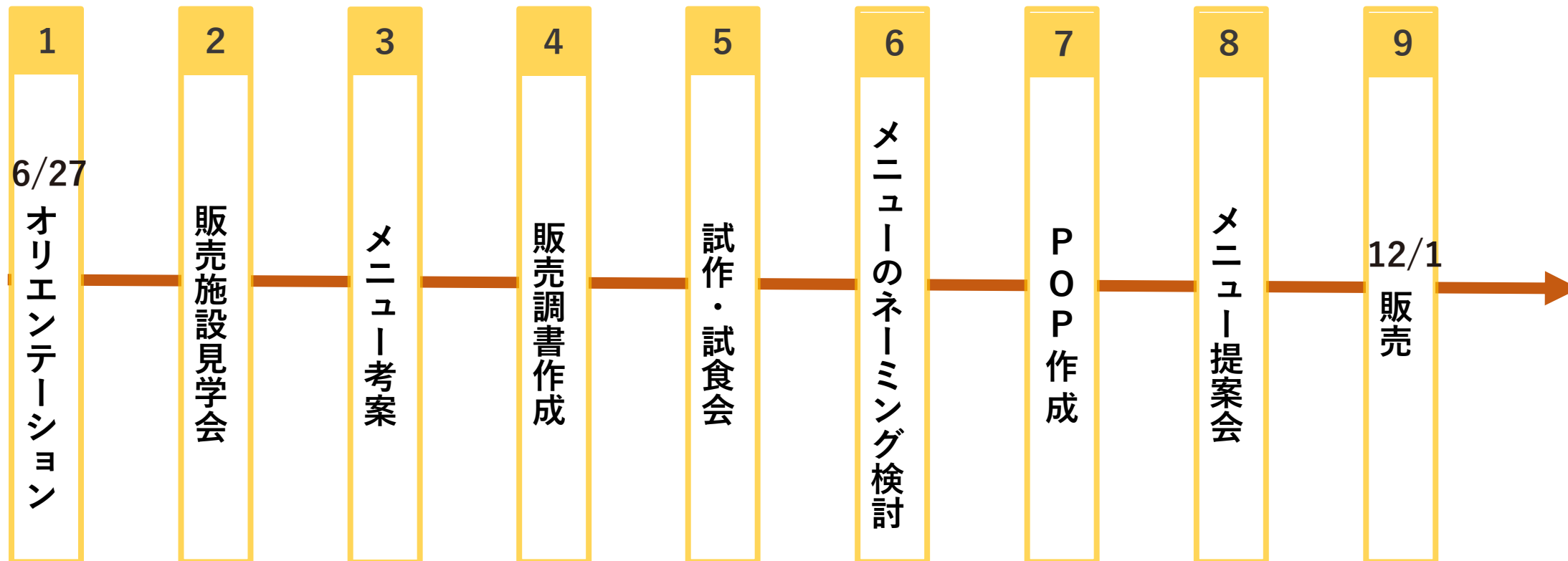
取組事例紹介

食品科

\12月1日から販売開始/

自身で加工生産した商品を営業店舗で販売、レストランのメニュー開発

連携先：近江鉄道株式会社、賤ヶ岳SA（下り線）

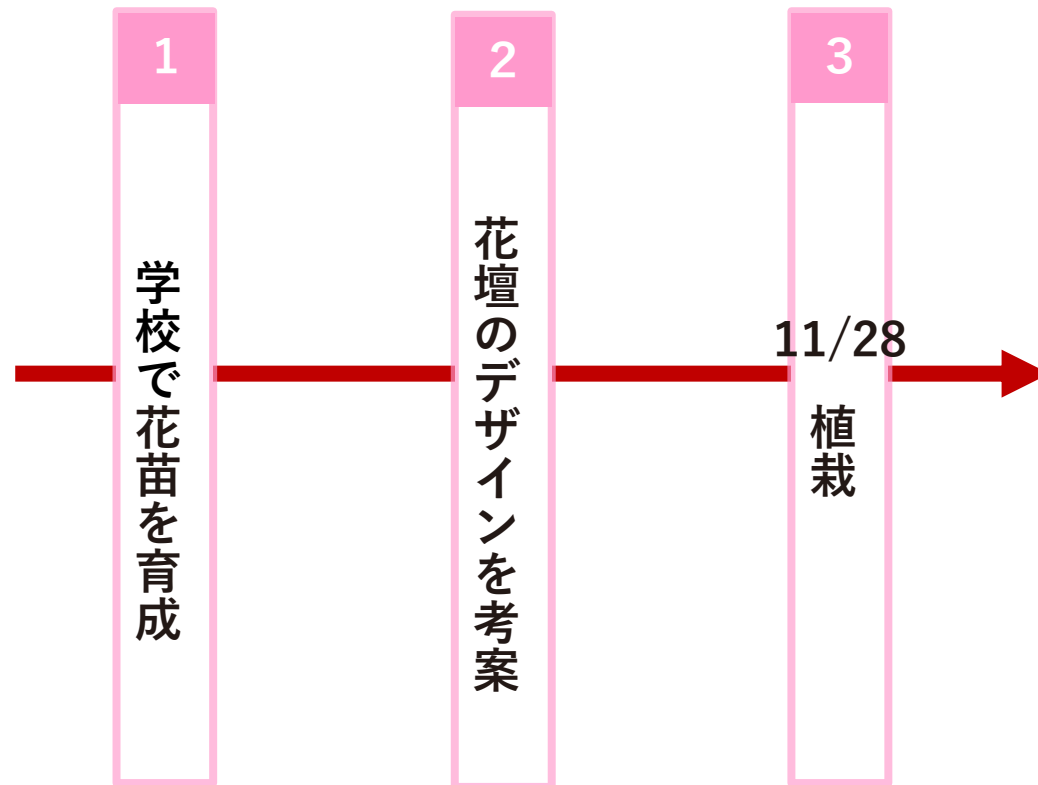


取組事例紹介

園芸科

学校で栽培した草花を活用した**植栽活動**

連携先：豊公園、びわ湖高齢者マンション 悠悠の館



\ 11月28日に植栽/



取組事例紹介

園芸科

食品科



マコモダケ栽培を通じた**商品開発**で
中間山地域を活性化

連携先：伊吹くらしのやくそう倶楽部、
滋賀県農村振興課

農業科



「近江苧安」の栽培や染色講座を開催し、
地域資源を活用

連携先：米原市立伊吹山文化資料館

取組事例紹介

学科	取組内容	連携先
農業科	湖北地域の稲作についての現況や栽培環境の学習を行う	長浜南部土地改良区(水土里ネット長浜南部)
	「近江牛」に関する現況や飼育環境の学習を行う	滋賀県畜産技術センター 滋賀県畜産振興協会 近江牛肥育農家
	地域野菜「尾上菜」の復活農業振興に向けて共同研究を行う	長浜バイオ大学
	連携共同開発した「ほうじ玄米茶」の販売	(株)ふるさと夢公社きのもと
園芸科	油糧用ヒマワリ種を栽培し、福島県の授産施設へ送ることでインクルーシブ教育を学ぶ	NPO法人シャローム
	地域の土木、造園に関する学習を行う	一般社団法人 滋賀県建設業協会
	連携校が作成するジェットストーブ式焼き芋機にあった、焼き芋の品種生産を行う	彦根工業高校機械科
	栽培技術の学習を行う	滋賀県農業大学校
食品科	地域の販売会に参加	長浜まちづくりセンター 長浜青年会議所 米原市伊吹薬草の里文化センター
	連携先で販売されているアイスに沿えるクッキーの共同開発	名神高速道路 伊吹PA キッチン伊吹
	自身で育てた近江牛の販売会	アル・プラザ平和堂